

東灘区医療介護サポートセンターより

暑さが和らぎ爽やかな秋晴れの日々が続くこの頃、お健やかに過ごしのことと存じます。
令和7年度も折り返しになりましたが、今年度中も様々な研修会の開催を予定しております。
研修会や会議でお会いできることを楽しみにしております。
困りごとがあればいつでもご連絡ください。

東灘区の街でご活躍の専門職



東灘区6病院地域連携室の紹介をします。

10月号は宮地病院、本山リハビリテーション病院、住吉川病院の3病院です。

令和8年度4月号は甲南医療センター、六甲アイランド甲南病院、東神戸病院の3病院を掲載予定です。

医療法人明倫会

宮地病院・本山リハビリテーション病院

トータルサポートセンター

地域医療連携室 師長 石井 弘美 氏

【宮地病院】

宮地病院は急性期病床と東灘区内で唯一の医療療養病棟があります。療養病棟では終末期の患者様や自宅・施設への退院を目指す方もおられ、定期的に他職種でカンファレンスを行い、一人一人のQOLが維持できるよう、リハビリ（PT・OT・ST）の介入にも力を入れ、患者様やご家族様の希望に沿えるようチームで取り組んでいます。急性期から在宅まで切れ目のないサービスを提供しています。これからも地域の方々のお役にたてるよう「治し、支える」を実践していきます。



宮地病院

地域医療連携室のみなさま

【本山リハビリテーション病院】

本山リハビリテーション病院は、全室個室で「アートのある病院」として、回復期リハビリテーション病棟80床、障害者一般病棟40床が開設されました。

リハビリテーションを通じて患者様が障害を乗り越え、その人らしく生きる力を取り戻す支援を行っています。カフェやコンサートなどの楽しい企画や出張健康講座なども実施し、地域とのつながりを大切にしています。多職種連携では、職種ごとの視点や専門性の違いを活かし、院内カンファレンス等で情報を共有して、患者様の退院支援を行っています。

これからも互いの専門性を尊重し、丁寧で密なコミュニケーションを心がけて、患者様を主体としたより良い多職種連携を進めていきたいと思っております。



本山リハビリテーション病院
地域医療連携室のみなさま

医療法人五仁会 住吉川病院

地域医療連携室 藤山 衣舞 氏

神戸市東灘区甲南町、JR「住吉駅」から徒歩約10分の位置にある自然あふれる住吉川沿いにある、環境に恵まれた病院です。
 診療科としては内科、外科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、脳神経内科、リハビリテーション科など幅広く対応しており市民の皆様にも参加していただける糖尿病教室にも近年力を入れております。
 慢性腎不全の治療として、人工透析（血液透析・腹膜透析）を中心とした医療に力を入れており、外来の透析ベッド数は約102床、一般病床数は約45床です。
 地域連携の仕事としては現在入退院支援看護師一人で行っております。前方支援・後方支援とも看護師が現在行っています。



地域医療連携室 院長
藤山氏 野口先生

【受け入れ調整入院前の支援（入院調整）】
 地域の医療機関からの紹介患者の受け入れを調整します。
 患者さんがスムーズに入院できるよう、診療科や病床の空き状況を確認し、適切な部門に手配します。
 患者への説明・相談：入院に関する手続きや注意事項を患者さんやご家族・紹介元の病院様に説明します。
 また、患者様が不安なく入院できるようにサポートを行います。

【退院支援・在宅支援】
 入院中からあんしんすこやかセンターやケアマネージャーと連携を行い退院後の生活を見据えた支援計画を行っていき必要に応じて在宅医療の提供、訪問看護・訪問介護・リハビリの橋渡しも行っています。
 退院後の不安なことがあれば一緒に解決していきたいと思いますのでなんでもご相談下さい。



藤山さんのデスク

【訪問歯科診療協力医院】

このたび東灘区歯科医師会が訪問歯科診療協力医院のリストを作成されました！
 歯科治療や口腔ケアをすることで食べる機能が維持できることが重要です。歯医者に行けなくても訪問歯科を利用することで自宅で歯の治療を受けることができます。ぜひこちらのリストを参考にしてください。

訪問歯科診療協力医院

東灘区歯科医師会に所属する歯科医師が訪問診療に協力している医院のリストです。
 歯科医師会の歯科医師がご自宅やご入院・ご療養先へ訪問して歯科診療を行います。

相談窓口 住吉川病院 TEL: 078-453-4188 FAX: 078-453-7439

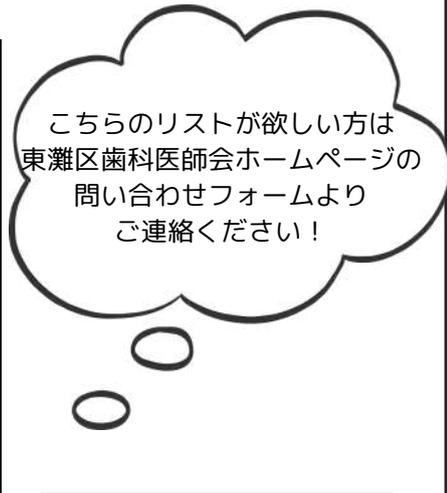
東灘区歯科医師会 Higashinada Dental Association
 東灘区歯科医師会ホームページ: <https://www.kobe418.jp/higashinada/>

協力医院一覧		
たかはし歯科 院長 高橋 隆雄 〒245-0294 住吉区住吉1-1-1 TEL: 078-4379443 FAX: 078-4379448	吉川歯科医院 院長 吉川 隆雄 TEL: 078-453-4188 FAX: 078-453-7439	あかにし歯科ホームケアクリニック 院長 高橋 隆雄 TEL: 078-417-2425 FAX: 078-417-3526
たかぎ歯科医院 院長 高橋 隆雄 TEL: 078-417-3600 FAX: 078-417-3600	関川歯科医院 院長 関川 隆雄 TEL: 078-411-2603 FAX: 078-411-2603	ふくしま歯科・矯正歯科 院長 高橋 隆雄 TEL: 078-654-2224 FAX: 078-654-2289
江崎歯科口腔外科クリニック 院長 江崎 隆雄 TEL: 078-451-0910 FAX: 078-451-0910	吉市歯科医院 院長 吉市 隆雄 TEL: 078-411-0394 FAX: 078-411-0394	豊利歯科医院 院長 豊利 隆雄 TEL: 078-641-3763 FAX: 078-641-3769

新築心内科 雨ノ神歯科 院長 雨ノ神 隆雄 TEL: 078-832-4945 FAX: 078-832-5315	中川歯科医院 院長 中川 隆雄 TEL: 078-452-0800 FAX: 078-452-0803	いげた歯科 院長 いげた 隆雄 TEL: 078-823-0989 FAX: 078-823-0991
Les 丹摩デンタルクリニック 院長 丹摩 隆雄 TEL: 078-891-8011 FAX: 078-891-8022	もり歯科クリニック 院長 もり 隆雄 TEL: 078-452-0148 FAX: 078-452-0148	にい歯科・矯正歯科 院長 にい 隆雄 TEL: 078-451-6550 FAX: 078-451-6750
新田歯科クリニック 院長 新田 隆雄 TEL: 078-451-5086 FAX: 078-451-5089	しまはらデンタルクリニック 院長 しまはら 隆雄 TEL: 078-858-8882 FAX: 078-858-8881	いじま歯科医院 院長 いじま 隆雄 TEL: 078-962-3220 FAX: 078-962-3220
なご歯科医院 院長 なご 隆雄 TEL: 078-654-7318 FAX: 078-656-7317		

※こちらは医院への紹介の事業となります。治療に関しては各医院の先生とご相談ください。

申し込み方法：各医院に電話かFAXにて直接お申し込みください。
<https://www.kobe418.jp/higashinada/hig/hononouchi/kohsoku.pdf> 申し込みはこちら



こちらのリストが欲しい方は
 東灘区歯科医師会ホームページの
 問い合わせフォームより
 ご連絡ください！

訪問歯科対象者
 ご自宅や施設でご高齢、
 色々な病気のために
 歩行困難、通院困難な方



令和6年度 東灘区多職種連携研修会

①『南海トラフに備えよう！ part.1～自助・共助を考える』

日時：R6年3月27日（木）14:00～16:00 場所：東灘区医師会館3Fホール

参加者：54名

【講義内容】

1-1.「南海トラフ地震に備える 地震時における東灘区の防災体制」

東灘区役所総務部地域協働課 課長 吉井 良英 氏

- ・阪神淡路大震災の被害状況
- ・南海トラフ地震の災害想定
- ・津波対策
- ・区役所の動き方

1-2.「東灘区における災害時医療救護体制の確保に向けた取り組み」

東灘区役所保健福祉部保健福祉課 課長 布 真司 氏

- ・神戸市における災害時の医療救護体制
- ・医療救護体制確保に向けた医師会等関係団体との協議
- ・救護所・福祉避難所について
- ・今後の取り組み

2.「いざという時に備えて-医療機関側の現状-」

六甲アイランド甲南病院 水谷 和郎 先生

- ・災害医療時の基本（CSCATTT）について
- ・緊急地震速報が鳴った時の動き
- ・災害発生時の正常性バイアスについて（不安が見えなくなるメガネ動画視聴）
- ・指揮命令系統について（防災訓練、災害対策マニュアル、BCPの必要性）
- ・東日本大震災 石巻赤十字病院の動画視聴

【パネルディスカッション】

<テーマ①> 発災72時間以内の各機関の動き

医師会：大切なのはまずは自分の身を守ること、家族の安全確認。診療中なら患者、スタッフの安全確認。共助としては各地区の救護所への救援に行く。自院での診療が可能なら自院で診療開始し、無理なら救護所へ行き応急処置やトリアージの実施。

<テーマ②> 防災について

共助ということで住民の力がないと乗り越えられない。そのために防災コミュニティが結成された。東灘区には13個あり区内の全てが網羅されている。訓練の内容としては消火訓練、避難訓練、炊き出し訓練などを実施。防災福祉コミュニティと消防団が協力し津波対策として防潮堤の閉鎖訓練を毎年実施。

<テーマ③> 専門職に伝えたいこと

大切なことは横の繋がり。社会的に弱い立場の方に誰かと繋がっておくことの大切さを伝えてほしい。BCPのマニュアルは策定に加え、紙媒体としても出してほしい。（ライフライン切断された場合に備えて）マニュアルの理解の普及を管理者だけでなく実務担当者まで伝えてほしい。



令和6年度 東灘区多職種連携研修会

②『南海トラフ地震に備えよう！

～震災を振り返り、平時からの自助・共助を考える～



日時：R7年4月24日（木）14:00～16:30 場所：東灘区医師会館3Fホール

参加者：60名

【講義内容】

1.「避難所等での健康支援について」

東灘区役所保健福祉部保健福祉課 課長 平山 順子 氏

- ・行政の災害対応の大枠
- ・保健師等チームの支援活動（能登半島地震）
- ・協働のための提案

2.「来るべき災害に対応するために」

阪神・淡路から能登半島地震までの教訓

兵庫県医師会 救急・災害医療担当理事 清成 則久 先生

- ・災害医療コーディネーターについて
- ・過去の地震からの教訓（阪神淡路大震災、M8.8チリ地震、東日本大震災）
- ・能登半島におけるJMAT活動（現地の状況や避難所の状況について）

3.「震災時 訪問介護としてやるべき事」

～東日本大震災体験談～

株式会社Tondo 事業本部長 山口 貴行 氏

- ・震災を振り返り
- ・訪問介護運営会社から見た震災時にやること3点
- ・2次被害 人的被害にも備えが必要
- ・まとめ、判断基準

【グループワーク】

<テーマ>

南海トラフ地震を想定して個人・事業所として最低限できることを考えよう！

<発表内容>

事前：連絡網、避難経路、役割の準備。家族と話をしておく。

BCPの把握。津波がくる可能性がある場合はそれを皆に発信。食料を3階にあげる、扉をあける、内服薬は4階へあげるといった指示を出していく。

期中：利用者の確認、近隣の状況確認、情報収集、職員、家族の安否確認。事業継続できるか検討。他の事業所との連携も必要になるかもしれないため平時から連絡を取っておく。110分という津波が来るまでの無駄にできない時間の中で何をするのか考えることが大切。

事後：振り返りを行い対応がどうだったか話し合いが必要。



③「難病支援の理解を深める」 難病支援とはなにかできることを考える ～パーキンソン病の患者さんと向き合う、支えるには～

日時：R7年7月9日（水）14:00～16:00 場所：東灘区医師会館3階ホール 参加者：84名

【講演内容】

①「難病支援とはなにか、できることを考える」 ～パーキンソン病の患者さんと向き合う、支えるには～

講師：つじ脳神経内科・訪問診療クリニック

院長 辻 雄太 先生

- パーキンソン病の患者さんと向き合う、支えるには
- 1. パーキンソン病を知る
- 2. パーキンソン病の患者さんの思いを知る
- 3. パーキンソン病の患者さんの思いと支援者の思いをかなえる、あるいは近づけることが可能な方法を、ともに模索する



寄せられた感想の一部

- 担当者会議とケアカンファレンスの違いについて学べた
- パーキンソン病について詳しく学ぶことができた
- 医療との連携に壁を感じていたが積極的に関わっていこうと思えた

②「パーキンソン病患者の本人・家族支援」～理学療法士の視点～

講師：つじ脳神経内科・訪問診療クリニック

リハビリテーション部部长 玉田 圭佑 氏

- 理学療法士からみたパーキンソン病患者の療養支援3つのポイント
- 理学療法士からみたパーキンソン病患者療養支援
- 支援者の皆様に伝えたいこと



たくさんの方に参加していただき好評の声もたくさん聞かれました。難病支援で悩まれている専門職の方がたくさんおり意見交流も盛んでした。疾患を知ること、多職種連携の大切さを改めて学んだ会でした！

【グループワーク、グループ発表】

テーマ：難病症例のよりよい生活の実現 医療介護連携「ケアカンファ」の実施

- ケアカンファレンスを開催するには、どんな準備が必要か
- 医師が参加できないケアカンファレンスを、どのようにすれば十分な内容でスムーズに行えるか
- この症例において医療介護連携はどうしたらよいか

市民啓発

「人生会議はじめてみませんか？」 ～自分らしく生きるために～

日時：令和7年7月25日（金） 13:30～15:00

場所：東灘区医師会館3階ホール

参加者：カードゲーム参加者10名

開催関係者7名

【思い・価値観の表出】

- 色々な管につながって意識がなく寝たきりの姿を見ると、生かされていると感じてしまう。
- 自分の子供より若い人と話をする機会がなくて参考になった。
- 先のことは想像ができない。
でも、自分が死んだ時に家族が困らないようカードや電話など解約が必要になるものなど情報を書き留めたノートを1冊作っている。
- 家族とは人生会議のようなものはしたことがない。
人に話したこともあまりない。

今後の人生について自分の思いを伝えることの大切さに気付ける会でした！この会は今後も継続して行っていきます！ぜひみなさまも一緒に価値観カードゲームをしてみませんか？お声がけいただけたら喜んで実施します！



「芦屋市・神戸市東灘区の病院を知ろう！」



日時：R7年8月21日（木）14:00~16:00

場所：東灘区医師会館3階ホール

参加者：94名

【内容】

- ①病院からの情報提供
- ②事前質問による質疑応答
- ③質疑応答
- ④名刺交換

【感想】

- ・名前は知っていて電話でしかやり取りしたことがない方と実際に会うことができた。対面の機会は入院した方がいないとないことなので貴重な時間だった。
- ・各病院の特色が分かってよかった。病院のMSWさん達の顔がわかってよかった。
- ・入退院時の連携をよりしっかり行っていきたいと思った。
- ・市を超えての連携が出来るようになるキッカケになったと思う。

次年度はより1歩踏み込み事例検討やグループワークを病院と在宅とで一緒に行い、意見交換ができたかと考えています！

芦屋市と東灘区は市が違っても、隣接しておりお互いの医療介護資源を利用している方が多くいます。市を超えた連携を円滑にするためにも顔の見える機会を作る事が大切ですね。



サポートセンター相談業務



令和7年4月から9月までの半年間でいただいた相談は87件です。相談内容の例は以下のようなものになっています。

【相談ケース紹介】

訪問診療：70代で介護保険未申請の方。
市外病院に外来通院中。7月から他院で放射線治療予定。
外来通院と並行して訪問診療を開始したいと希望あり。



今後緩和ケアに移行する方とのことで24時間対応が可能、麻薬処方が可能、終末期の看取りまで行っているクリニックを複数紹介させていただきました。

バリアフリーのクリニック、女性の先生がいるクリニック、自宅近くのクリニックなど様々な条件をご提示いただいた中から少しでも希望に沿った返答ができるよう対応します！

他にも難病や精神疾患、レスパイト入院先、制度に関する事など幅広いご相談をお受けしております。1つ1つの相談に適切な返答ができるよう、利用者の方の背景や家族構成などもお聞きし丁寧な対応を心がけています。困った時に寄り添える存在となれるよう今後も努力していきます。お気軽にご相談下さい。

開催予定の研修会

令和7年度東灘区医療介護従事者向け研修 明日から現場で使えるACP実践講座 ～対話と連携で支える意思決定～

日時：令和7年12月20日（土） 14:00～16:00

場所：東灘区医師会館3階ホール

講演：兵庫県立はりま姫路総合医療センター
緩和ケア内科 診療科長同センター
緩和ケアセンター長 坂下明大 先生

ACPの進め方は？切り出すポイントは？など、
様々な疑問や不安が解決できる研修会になっています。
実際にロールプレイもします。
これをきっかけに現場で活かせるACPを
一緒に学びませんか？

お申込みは
こちらから→



令和7年度東灘区医療介護従事者向け研修

明日から現場で使えるACP実践講座
～対話と連携で支える意思決定～

ACPとは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う
自発的なプロセスのことです。
ACP、人生会議という言葉を知ったことがある方も多いと思います。
実際に実施したことはありますか？その場に即った経験はありませんか？
今回は、ACPの重要性と実践方法、ACPにおける多職種連携の重要性について講義と
ロールプレイで学ぶ機会となっています。ぜひご参加ください！

人生会議について
もっと知りたい

今後の話を聞きたい
でも自信がない…

どのタイミングで？
言葉選びは？

実践で学びたい！

2025
日時 12/20(土) 14:00～16:00

講師 坂下明大先生

先着 60名 参加 無料 抽籤 12/17(水)

会場 東灘区医師会館3階ホール
神戸市東灘区御影中町4丁目1-8

お申し込みは
フォームから

お問い合わせはこちら
東灘区医療介護サポートセンター
(東灘区御影中町4-1-8 東灘区医師会館3階)
☎078-822-0171 担当者：青山・三宅

共催
神戸市東灘区医師会
東灘区訪問看護ステーション連絡協議会
神戸市ケアマネジャー連絡会(東灘区)
東灘区医療介護サポートセンター

Q&A 東灘区クイズ ～救急編～ (答えは1番下に載せています。)

①R6年度東灘消防署の救急出動件数はどれくらいでしょう？

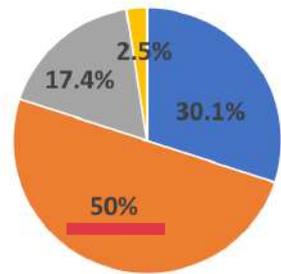
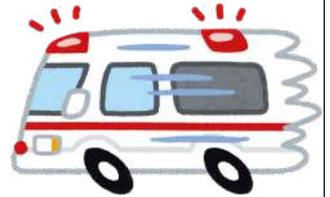
A.約8,000件 B.約10,000件 C.約12,000件

②神戸市東灘消防署の救急隊は何隊あるでしょう？

A.4隊 B.6隊 C.8隊

③これは住居内で発生した熱中症搬送者に関するエアコン設置・使用状況のグラフです。
グラフの赤線50%に当てはまるのはどれでしょう？

- A.クーラーがあり使っていた人
- B.クーラーはあるが使っていなかった人
- C.クーラーの設置がなかった人



9月9日は「救急の日」、9月7日～9月13日は「救急医療週間」でした。
救急について少しでも考えるきっかけになったらという思いで救急編としてクイズを作成しました。

【クイズの答え】

①の答えはC。正確には11,696件です。ちなみに神戸市全体で99,275件でした。
東灘区は昨年12月が1,134件と1年間で1番出動件数が多かったです。R7年度の速報値（1月～8月）は7,215件です。

②の答えはA。救急隊4隊で毎日この数の救急出動しているとは驚きですね。
限りある資源の中で日々全力で命を繋いでくれている救急隊に感謝の気持ちを持つとともに救急車の適正利用について
考えていく必要があると改めて実感しました。
今すぐ救急車を呼ぶか迷ったときは、#7119へ電話相談することも覚えておきたいですね。

③の答えはB。「クーラーがあり使っていた人30.1%」「クーラーはあるが使っていなかった人50%」「そもそもクーラーの
設置がなかった人17.4%」でした。また、熱中症搬送者の約43%が屋内で発症しています。やはりクーラーを使用してい
ない人の搬送が多く（約7割）、重症で搬送されるのも高齢者なので、生活環境に加えて水分補給の支援等、私たちも気を付けて
いきたいと思います！

次回の東灘区サポセン通信は4月頃の発刊予定です。よろしくお祈いします！